

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-251	高等学校	外国語	論理・表現 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
177 増進堂	論 I 713	MAINSTREAM English Logic and Expression I		

1. 編修の基本方針

教育基本法第一章「教育の目的及び理念」の第一条「教育の目的」・第二条「教育の目標」、および高等学校学習指導要領第2章 第8節「外国語」の第1款「目標」を実現するために、次のことがらが可能になるように編修することを基本とした。

- ①日本人、世界市民として21世紀に生きるうえでのコミュニケーション力（特に発信力・表現力）の基礎を築くこと。
- ②知識・理解にとどまらず、技能の習得・定着を図り、考え表現する力を伸ばすこと。
- ③わかりやすく学習しやすい素材と手順・方法を提供することにより、学習への意欲や英語への興味・関心を高めること。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson 2	好きな音楽の話題を通じて、相手に理由をたずねたり、質問に答えたりする表現を身につけることで、他者の価値観に対する理解を深めたり、自分自身の考えを伝えるなど、さまざまな価値観を持つ人々と共生していくための基礎となるコミュニケーション能力を培えるものにした。(第 1, 3 号)	8,9 頁
Lesson 3	美穂が友人にもらったペンケースを大切にしている、というエピソードから、ものを大切にする心を学ばせ、さらに、自分の宝物についても考えさせることで、感情豊かな心を育むものとした。(第 1 号)	10,11 頁
Lesson 4	友人との関係を深める上での基礎となる「誘い」の表現を身につけるとともに、誘いを受けたり、相手への配慮を示しながら誘いを断ったりなど、人間関係を円滑に保ちながら、自分自身の意思を表現する方法を学べるものとした。(第 1 号)	12,13 頁
Lesson 9	けがや体調不良など、生活の場面で表現できなければ、命に係わる場合もある重大な表現を取り扱うとともに、けがをした友人に思いやりを示すやりとりや、健康を維持するための方法を助言し合うやりとりを通じて、他者や健康への関心を高められるものとした。(第 1, 4 号)	40-42 頁
Lesson 14	ブックレビューの作成を通じて、その本の作者や作品に関する知識を身につけ、より深く作品を味わうことを促した。また、クラスメイトとおすすめの本を共有することで、生徒たちの読書への興味を高めることを目指した他、まだ足を踏み入れたことのない、豊かな作品世界を意識させられるものとした。(第 1 号)	66-69 頁,71 頁

Lesson 13	日本の伝統文化である書道は必修/選択科目のどちらがよいかという議論から、「何を学ぶべきか」に対する批判的なまなざしを育むとともに、論理的な理由を以て自身の意見を支持する表現を身につけるものとした。(第 1, 5 号)	58-60 頁
Lesson 5	自分の所属するクラブ活動についてやりとりをする中で、その活動を通して何をやり遂げたいかを表現する活動を通して、充実した高校生活にするには何について努力すべきかを考えさせるものとした。(第 2 号)	20-22 頁
Lesson 7	過去と現在の視点を柔軟に行き来しながら、夏休みの経験を振りかえらせ、長期休暇の過ごし方の反省を促すとともに、次の休暇をより充実させるにはどうしたらよいかを考えるきっかけとなるものとした。(第 2 号)	28-30 頁
Lesson 8	文化祭での企画を話し合う場面を扱う中で、文化祭を皆で協力して作り上げようという姿勢や、特定の生徒だけではなく、皆が役目を持って活躍できる文化祭を目指そうという視点を、生徒たちが獲得できるものにした。(第 3 号)	36-38 頁
Lesson 12	本物の犬とロボットの犬のどちらを飼いたいかを考えさせることで、限りある生命の尊さに目を向けさせるとともに、AI などの科学技術が持つ可能性と課題にも関心を持たせるものとした。また、モデル文等では生き物を飼うことの実責任を強調し、命を大切にすることを身につけさせるものにした。(第 3,4 号)	54-56 頁
Lesson 15	さまざまなボランティア活動を紹介するとともに、高校生が活動先の施設経営者に送ったメール文など、生徒たちが主体的にボランティア活動を行う際に、やりとりのヒントとできる文章を掲載した。(第 3 号)	72-75 頁
Lesson 17	日々深刻さを増すゴミ問題について、ゴミを分別することの大切さや、削減するために何ができるかをクラスメイトと話し合い、自身がゴミ問題を解決すべき主体であるという意識を身につけさせるものとした。(第 4 号)	84-87 頁
Lesson 10	外国人にとって魅力的な場所や、遠足にうってつけの場所など、日本や自分の住む地域からおすすめの場所を紹介する活動を通して、それぞれの場所や地域が持つ魅力を確認し、発信する力を身につけられるものとした。(第 5 号)	44-46 頁
Lesson 1, Skill 1	自己紹介やあいさつなど、あらゆる社会の中で、他者とよい関係を築くための第一歩となる表現を学ぶ。また、自分の名前の由来を紹介する活動を通して、日本の漢字や、保護者の名付けに対する思いへの理解を深めるとともに、世界の人々の名前が持つ由来について、関心を持たせるものにした。(第 5 号)	6,7,16-18 頁
Lesson 6, Skill 2	自分の町について紹介する表現を身につけることで、郷土の伝統や文化に目を向けさせ、その地を愛する豊かな心を育めるものとした。また、自分の町についてプレゼンテーションをする活動を通して、その魅力を他者に発信する能力を身につけることを目指した。(第 5 号)	24-26 頁, 32-34 頁

Lesson 11	夏と冬のどちらが好きかという話題を通して、日本の四季やそれぞれの季節で見られる文化の豊かさに目を向けさせ、自分の好きな季節を理由とともに、論理的に発信する力を身につけられるものとした。(第 5 号)	50-52 頁
Lesson 16	リーフレットの作成を通して、英語で日本食をどう表現するかだけでなく、普段何気なく口にしているものの歴史や地域性について知識を身につけ、日本食の魅力を発信する力を身につける。(第 5 号)	78-81 頁

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○自主・自立及び共同の精神、自国や外国の文化への理解、他者の尊重、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養育するため、身近な日常生活にとどまらず、学校、地域・社会、世界と幅広い場면을題材として扱い、自らの意見を論理的かつ効果的に発信する力や、他者の意見を尊重し、円滑で実りあるやりとりを行う力を高めることに重点を置いた。

○豊かな創造性を養うため、スピーチやプレゼンテーション、リーフレット作りや学校新聞など、英語で戦略的な表現を行う活動を取り入れた。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-251	高等学校	外国語	論理・表現 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
177 増進堂	論 I 713	MAINSTREAM English Logic and Expression I		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 題材等について

- ①生徒がさまざまな話題について学ぶことができるように、バランスよく話題の選択をすること。そのために、身近な日常生活から始めて、学校、地域・社会、世界というように扱う範囲を広げるように配慮した。
- ②さまざまな話題を扱うために必要な語彙・表現を提示すること。そのために、Word Bank, Expressions などの欄を設けて生徒の言語活動を補助できるようにしてある。
- ③知る→考える→表現するという手順を踏まえながら、知識や理解したことを運用できるように持っていくこと。「知った」ことからは「使う」ことで定着する (intake) という考えに基づき、学習したことを生徒自身が見えるような練習を用意し、考えたり表現したりできるようにしてある。
- ④大きな枠組みとして、まずは音声を重視する内容から始め、文字を重視する活動へつなげていくこと。主として「話すこと」と「書くこと」を目的としている科目であるものの、学習指導要領の「目標」にもあるように、「聞くこと」や「読むこと」と関連させて指導するようにしてある。
- ⑤コミュニケーションをする必然性のある状況設定をし、生徒の学習への動機付けを高めるような活動を用意することで、より積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すること。「状況」は「場面」に限らず、話したり書いたりする「形式」(プレゼンテーション、新聞への投稿文、等) といったことも含めて配慮してある。
- ⑥各課において、最終的にはきちんとした文章を「書く」ことを目指すこと。そのために各課で「表現するための文法」を学習・練習できるように構成した。
- ⑦さまざまな生徒や教員に対応できるように、教科書・付属教材等とともに工夫を施すこと。

(2) 構成等について

- ①全体の構成としては、Lesson 1～Lesson 4 は基本的な内容を扱いながら高校の学習に慣らせ、Lesson 5～Lesson 17 においては高校の学習内容の基礎的な内容を学習する。
- ②各課は、題材内容と言語材料 (文法事項・機能) を密接に関連させるように構成し、両面で効果的な学習が可能ないようにした。
- ③Part 1 では、Skill 1 でスピーチを行うことを目標に、個人の好みや週末の予定などごく身近な事柄を題材として取り上げ、自分自身のことを表現する力を培うことに重点を置いた。
Part 2 では、Skill 2 でプレゼンテーションを行うことを目標に、自分の学校生活にまつわることや地域社会を題材に、自分の考えや情報をわかりやすく説明する技術を身につけられるよう、構成した。
- Part 3 では、Skill 3 でディスカッションを、Skill 4 でディベートを行うことを目標に、自らの意見を論理的かつ効果的に発信する技術や、他者の意見を傾聴し、円滑なやりとりを行う技術を身につけられるよう、構成した。なお、ディスカッションやディベートは、言語の様々な機能を即興的に駆使して、他者との意見交換を行うことが求められる活動である。そのため、論理・表現 I ではこれらの活動の一番の基礎ともいえる、「理由とともに自分自身の意見を表明する能力」を培うことを中心に据え、活動を構成した。
- Part 4 では、Skill 4 でまとまりのある文章を書くことを目標に、メール、手紙、リーフレット、新聞記事、ブックレビューといった様々な形式でのライティング活動を通して、自分の意見を文章で伝える技術を培う。

⑤各課の構成は Part によって次のようにした。

○Part 1 (Lesson 1～Lesson 4, Skill 1)

- 1) Warm Up: 課のトピックの内容や関連語を導入するリスニングを行う。
 - 2) Model Dialog: 課の題材内容・言語材料を学習する。
 - 3) Practice: 対話練習・情報収集をした上で、課に関連した内容の文章を書く。
 - 4) Try: 文法を簡単にまとめ、練習をする。
- Skill 1 :スピーチに関するテクニックを学習した後、Part 1 で扱ったトピックに関して、スピーチ活動を行う。

○Part 2 (Lesson 5～Lesson 7, Skill 2)

- 1) Word and Expression Input: 課のトピックの関連語句を導入する。また、学習した表現が用いられた対話を聞き、ディクテーション活動を行う。
 - 2) Model Dialog: 課の題材内容・言語材料を提示する対話文。音声や文法、機能も学べるようになっている。Comprehension や TRUE OR FALSE では、内容理解のチェックをする。
 - 4) Speaking and Writing Output: 課のトピックと関連した会話を聞きとるディクテーション活動を行った後、その対話をもとにロールプレイングでの対話練習をペアで行う。その後、今度は自分たちのことについて、ペアでやりとりをする。また、ペアで対話した内容をもとにした発表活動や、簡単なライティング活動を行う。発表する際の支援として、モデルとなる英文を教科書に例示し、同時にモデル文の展開例も日本語で示した。
 - 5) GRAMMAR COMPASS: 課の Model Dialog で学習した文法事項を整理しながら、文法を使う練習をする。また、文法項目と言語活動を関連させた設問を用意し、アウトプットの際の支援として、モデルとなる英文を教科書に例示した。
 - 6) Give It a Shot: 英語を聞いて内容のコンプリヘンション練習をする。
- Skill 2: プレゼンテーションに関するテクニックを学習した後、Lesson 6 で扱ったトピックに関して、プレゼンテーションを行う。また、発表者の発表を評価する活動も行う。

○Part 3 (Lesson 8~Lesson 13)

1) Word and Expression Input: 課のトピックの関連語句を導入する。また、学習した表現が用いられた対話を聞き、ディクテーション活動を行う。

2) Model Dialog: 課の題材内容・言語材料を提示する対話文。音声や文法、機能も学べるようになっている。Comprehension や TRUE OR FALSE では、内容理解のチェックをする。

4) Speaking and Writing Output: 課のトピックと関連した会話を聞きとるディクテーション活動を行った後、その対話をもとにロールプレイングでの対話練習をペアで行う。その後、今度は自分たちのことについて、ペアでやりとりをする。また、ペアで対話した内容をもとにした発表活動を行った後、提示されたガイドラインにしたがって、意見とその理由を伴う簡単なライティング活動を行う。発表する際の支援として、モデルとなる英文を教科書に例示し、同時にモデル文の展開例も日本語で示した。

5) GRAMMAR COMPASS: 課の Model Dialog で学習した文法事項を整理しながら、文法を使う練習をする。また、文法項目と言語活動を関連させた設問を用意し、アウトプットの際の支援として、モデルとなる英文を教科書に例示した。

→(Lesson 8~10) Skill 3: ディスカッションを効果的に進めるテクニックを学習した後、ディスカッション例の中でそれらのテクニックがどのように使われているかを確認し、ロールプレイングを行う。

→(Lesson 10~13) Skill 4: 2対2の簡易ディベートについて、手順と表現の面から学習した後、Lesson 11の題材をもとにディベートを行う。

○Part 4 (Lesson 14~Lesson 17)

1) Word and Expression Input: 課のトピックの関連語句を導入する。また、学習した表現が用いられた対話を聞き、ディクテーション活動を行う。

2) Model Passage: 課の題材内容・言語材料を提示する文章。各課で取り扱う文章形式の体裁をとっているほか、音声や文法、機能も学べるようになっている。Comprehension や TRUE OR FALSE では、内容理解のチェックをする。

3) Speaking Output: 課のトピックと関連したデータや表を提示した後、対話例や質問文に沿って、ペアでの対話活動や、ペアで対話した内容をもとにした発表活動を行う。発表する際の支援として、モデルとなる英文を教科書に例示し、同時にモデル文の展開例も日本語で示した。

4) Writing Output: 各文章形式でライティングを行う後の準備を行った後、実際に各型式に沿ったライティング活動を行う。

5) Give It a Shot: 英語を聞いて内容のコンプリヘンション練習をする。

6) GRAMMAR COMPASS: 課の Model Dialog で学習した文法事項を整理しながら、文法を使う練習をする。また、文法項目と言語活動を関連させた設問を用意し、アウトプットの際の支援として、モデルとなる英文を教科書に例示した。

→Skill 5: 読み手にとってわかりやすい英文を書くための重要な点について学習した後、文章を並び替える問題を行い、英文の段落の構成を定着させる。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容 第2款 第4論理・表現I 2内容, 3内容の取扱い	該当箇所	配当 時数
Lesson 1 Warm Up Model Dialog EXPRESSIONS / FOR YOUR USE True or False FUNCTION Sounds Practice GRAMMAR CHECK TRY	2(3)②ア(ア),イ(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,オ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,オ) 2(2)ア 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ) 2(3)②イ(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ア(ア),ウ(ウ) ②ア(ア),イ(ア,イ,ウ)	6 頁 6 頁 6,7 頁 6 頁 6 頁 6 頁 7 頁 7 頁 7 頁	2
Lesson 2 Warm Up Model Dialog EXPRESSIONS / FOR YOUR USE True or False FUNCTION Sounds Practice GRAMMAR CHECK TRY	2(3)②ア(ア),イ(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,オ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,オ) 2(2)ア 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,オ) 2(3)②イ(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ア(ア),ウ(ウ) ②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,オ) 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ)	8 頁 8 頁 8,9 頁 8 頁 8 頁 8 頁 9 頁 9 頁 9 頁	2
Lesson 3 Warm Up Model Dialog EXPRESSIONS / FOR YOUR USE True or False FUNCTION Sounds Practice GRAMMAR CHECK TRY	2(3)②ア(ア),イ(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,オ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,オ) 2(2)ア 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,オ) 2(3)②イ(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ア(ア),ウ(ウ) ②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,オ) 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ)	10 頁 10 頁 10,11 頁 10 頁 10 頁 10 頁 11 頁 11 頁 11 頁	2

Lesson 4 Warm Up Model Dialog EXPRESSIONS / FOR YOUR USE True or False FUNCTION Sounds Practice GRAMMAR CHECK TRY	2(3)②ア(ア),イ(イ) 2(1)ア(ア),イ(イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ) 2(2)ア 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ) 2(3)②イ(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ア(ア),ウ(ウ) ②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ) 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ)	12 頁 12 頁 12,13 頁 12 頁 12 頁 12 頁 13 頁 13 頁 13 頁	2
Grammar Practice	2(1)ア(ア,イ)	14,15 頁	※
Skill 1 Speech	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①イ(ア,イ),ウ(ウ) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(イ,ウ,エ)	16-18 頁	※
Lesson 5 Word and Expression Input EXPRESSIONS / FOR YOUR USE WORD BANK Model Dialog True or False Comprehension Sounds FUNCTION GRAMMAR Speaking and Writing Output GRAMMAR COMPASS Give It a Shot	2(1)ア(イ) 2(2)ア 2(3)①ア(ア) 2(3)②ア(ア),イ(イ,ウ,エ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア),イ(ウ,エ) 2(1)ア(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ) 2(2)ア 2(2)ア 2(3)②イ(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(イ,ウ,エ) 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ア(ア),イ(ア,イ),ウ(ウ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)①ア(ア) 2(3)①ウ(ウ) 2(2)ア,イ 2(3)①ウ(ウ) 2(3)②ア(ア),イ(イ,ウ)	20 頁 20-22 頁 20 頁 21 頁 21 頁 21 頁 21 頁 21 頁 21 頁 21 頁 21 頁 22 頁 23 頁 23 頁	3
Lesson 6 Word and Expression Input EXPRESSIONS / FOR YOUR USE WORD BANK Model Dialog True or False Comprehension Sounds FUNCTION GRAMMAR Speaking and Writing Output GRAMMAR COMPASS Give It a Shot	2(1)ア(イ) 2(2)ア 2(3)①ア(ア) 2(3)②ア(ア),イ(ウ,エ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア),イ(ウ,エ) 2(1)ア(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ) 2(2)ア 2(2)ア 2(3)②イ(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ウ,エ) 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ア(ア),イ(ア,イ),ウ(ウ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,ウ,エ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)①ア(ア) 2(2)ア 2(3)①ウ(ウ) 2(3)②ア(ア),イ(イ,ウ,エ)	24 頁 24-26 頁 24 頁 25 頁 25 頁 25 頁 25 頁 25 頁 25 頁 25 頁 26 頁 27 頁 27 頁	3
Lesson 7 Word and Expression Input EXPRESSIONS / FOR YOUR USE WORD BANK Model Dialog True or False Comprehension Sounds FUNCTION GRAMMAR Speaking and Writing Output GRAMMAR COMPASS Give It a Shot	2(1)ア(イ) 2(2)ア 2(3)①ア(ア) 2(3)②ア(ア),イ(ウ,エ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ) 2(1)ア(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ) 2(2)ア 2(2)ア 2(3)②イ(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ウ) 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ア(ア),イ(ア,イ),ウ(ウ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,ウ,エ,オ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア 2(3)①ウ(ウ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ)	28 頁 28-30 頁 28 頁 29 頁 29 頁 29 頁 29 頁 29 頁 29 頁 30 頁 31 頁 31 頁	3
Skill 2 Presentation	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①イ(ア,イ),ウ(ウ) 2(3)②ア(ア,ウ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	32-34 頁	※
Lesson 8 Word and Expression Input EXPRESSIONS / FOR YOUR USE WORD BANK Model Dialog True or False Comprehension Sounds FUNCTION GRAMMAR Speaking and Writing Output GRAMMAR COMPASS	2(1)ア(イ) 2(2)ア 2(3)①ア(ア) 2(3)②ア(ア),イ(イ,ウ,エ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア),イ(イ,ウ,エ) 2(1)ア(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(2)ア 2(2)ア 2(3)②イ(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(エ,オ) 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ア(ア),イ(ア),ウ(ウ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ) 2(1)ア(ア,イ)	36 頁 36-38 頁 36 頁 37 頁 37 頁 37 頁 37 頁 37 頁 37 頁 38 頁 39 頁	3
Lesson 9 Word and Expression Input EXPRESSIONS / FOR YOUR USE	2(1)ア(イ) 2(2)ア 2(3)①ア(ア) 2(3)②ア(ア),イ(イ,ウ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア),イ(ウ)	40 頁 40-30 頁	4

Writing Output	2(3)②ア(ア,イ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ウ(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(2)ア 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ウ(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	69 頁 69 頁 70 頁 71 頁	
Lesson 15 Word and Expression Input EXPRESSIONS / FOR YOUR USE WORD BANK Model Passage True or False Comprehension Sounds FUNCTION GRAMMAR Speaking Output Writing Output Give It a Shot GRAMMAR COMPASS Writing Guide	2(1)ア(イ) 2(2)ア 2(3)①ア(ア) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア),イ(ウ,エ,オ) 2(1)ア(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(2)ア 2(2)ア 2(3)②イ(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(イ,オ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ア(ア,イ),イ(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ウ,エ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ウ(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(2)ア 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ア(ア) 2(3)①ウ(ア) 2(3)①ウ(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	72 頁 72-74 頁 72 頁 73 頁 73 頁 73 頁 73 頁 73 頁 73 頁 74 頁 75 頁 75 頁 76 頁 77 頁	5
Lesson 16 Word and Expression Input EXPRESSIONS / FOR YOUR USE WORD BANK Model Passage True or False Comprehension Sounds FUNCTION GRAMMAR Speaking Output Writing Output Give It a Shot GRAMMAR COMPASS Writing Guide	2(1)ア(イ) 2(2)ア 2(3)①ア(ア) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア),イ(ウ) 2(1)ア(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(2)ア 2(2)ア 2(3)②イ(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(エ,オ) 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ア(ア,イ),イ(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ウ,エ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ウ(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(2)ア 2(1)ア(ア,イ) 2(3)①イ(イ) 2(3)①ウ(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ウ(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	78 頁 78-81 頁 78 頁 79 頁 79 頁 79 頁 79 頁 79 頁 79 頁 80 頁 81 頁 81 頁 82 頁 83 頁	5
Lesson 17 Word and Expression Input EXPRESSIONS / FOR YOUR USE WORD BANK Model Passage True or False Comprehension Sounds FUNCTION GRAMMAR Speaking Output Writing Output Give It a Shot GRAMMAR COMPASS Writing Guide	2(1)ア(イ) 2(2)ア 2(3)①ア(ア) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(1)ア(イ) 2(3)②ア(ア),イ(イ,ウ) 2(1)ア(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(2)ア 2(2)ア 2(3)②イ(ア) 2(1)ア(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(エ,オ) 2(1)ア(ア,イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ア(ア,イ),イ(ア,イ) 2(3)②ア(ア),イ(ウ,エ,オ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ウ(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ) 2(2)ア 2(1)ア(ア,イ) 2(3)①ア(ア)2(3)①イ(イ) 2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ウ(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	84 頁 84-86 頁 84 頁 85 頁 85 頁 85 頁 85 頁 85 頁 85 頁 85 頁 86 頁 87 頁 88 頁 89 頁 90 頁	5
Skill 4 Writing a Paragraph	2(1)ア(ア,イ) 2(2)ア,イ 2(3)①ウ(ア,イ) 2(3)②ア(ア,イ),イ(ア,イ,ウ,エ,オ)	90-93 頁	※
		計	60

<注> *総授業数は、週 2 時間、年間約 30 週として計算し、60 時間とした。

*Lesson 4 の後の Grammar Practice、および Skill 1~4 については各学校での弾力的運用を想定している。(※)